

旭区 モルック大会

2月4日、旭区モルック大会が旧若葉台西中学校グラウンドで行われました。区内18地区から46チームが出場し熱戦が繰り広げられました。今回のチーム編成は、大人と子どもの混成チームなので、大人たちが子どもたちに、子どもたちが大人たちに熱い声援を送り、周りの応援とも相まって、会場一体となって盛り上がっていました。ただ、モルック(投げる棒)を狙ったスキットル(木製のピン)に当てるのは中々難しく、的中した時の歓声は凄かったです。

大会結果は、トーナメント優勝がCブロック若葉台3でした。また、各ブロック1回戦敗退チームから、「小学校低学年代表戦」、「小学校高学年・中学生代表戦」も行われて、各優勝チームに賞品が送られ、楽しい時間を過ごすことができました。

モルックを投げるよ!



スキットルを倒して
びった450点を
めざそう!



編集後記

「あさひ青指だより」をお届けします。青少年指導員が行っている様々な行事や地域活動を多くの方々に知っていただければ幸いです。
今年度も新型コロナウイルス感染症の勢いが収まらず、旭区各地域も開催中止となる行事が多くあり「あさひ青指だより」発行も一回になりました。令和5年度はコロナ以前に行っていた青指の活動を予定通り開催できる事を願うばかりです。
今後も区民の皆様参加を心よりお待ちしております。



青指だより

第91号

令和4年度活動記録



発行 旭区青少年指導員連絡協議会
編集 広報部会
事務局 旭区役所地域振興課
TEL:045-954-6099

旭区マスコットキャラクター あさひくん

旭区新任青少年指導員研修会

6月5日、旭区新任青少年指導員研修会が旭公会堂講堂にて開催され、3年ぶりの研修会となりました。

旭区では、4月1日現在208名(うち新任者62名)の方が、青少年指導員として活動しています。

講演会では、一般社団法人横浜市生涯スポーツ協会 員川弘行氏をお迎えし、「明るい地域の担い手としての楽しみ方」について講演していただきました。

コロナ禍における学校での現状と、習い事や行動の多様化、忙しすぎる子どもたちと、大人たちがどのように向き合い、かかわっていけばよいか。スポーツコーチングの視点から、子どもたちの気づきを引きだし、その気づきに対して、大人が正当な評価(NICE!)をすることで、子どもは努力を重ねその努力が成果を生む…子どもはうれしい、声をかけた大人も楽しい、共に楽しむことは、地域の子もたちとの関わり合いや家庭生活にもつながりよい手段となること。そして、人や地域へのアプローチの手段「あいさつ」は、地域活動参加の糸口となること。

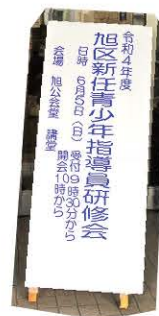
「子どもは社会の宝」子どもを大切に守り、明るい挨拶ができるコミュニティを育て、本来は出会うこ



とはない奇跡の出会いに感謝し、子ども・大人・地域の方々と共に楽しみ、おのおのが「笑顔のプレゼンターになること」それぞれが、明るい地域の担い手としての楽しみ方なのだと、お話しいただきました。

いろいろな経歴をお持ちの員川さんのお話は、シナプソロジーなど聞き手を飽きさせない語りで、<子どもたち>や<地域活動>への愛に満ち溢れた、熱い想いが伝わるひとときでした。

青少年指導員として、以前のような活気あふれる活動ができる日を願いつつ、コロナ禍でも可能な限り地域のかかわりを持てる活動をしていきたいと思った研修となりました。



旭区子ども写生大会



は生き生きとした表情ばかり。暑さなんかには負けない子どもたちの元気が絵に表れているのでしょう。

午後になると、ゴールポイントに描きあがった絵を持った子どもたちが続々と帰ってきます。顔を真っ赤にして汗だくな子も。今年の参加賞には大河ドラマで注目をされている畠山重忠公の缶バッジが加わりました。

「えっ、クレヨンも貰えるの!缶バッジもかわいい〜。」暑くて大変でしたが、久しく子どもたちとの触れ合いが途絶えていた我々の活動の大切さを感じさせてくれた一日となりました。



「毛の色は何色のクレヨンがいいのかなあ〜」

梅雨の中休みにしては暑すぎる6月25日、3年ぶりに旭区子ども写生大会が「よこはま動物園ズーラシア」で開催されました。当日は気温33℃と炎天下にもかかわらず、116名の子どもたちが集まりました。

大きな画板と画用紙を手渡された子どもたちは、元気よくお気に入りの動物のポイントへ走りだします。青少年指導員も汗だくになりながら遠くから子どもたちを見守ります。

あまりの暑さに動物たちもグッタリ。でも不思議なことに子どもたちがクレヨン走らせて描く動物たち

旭ふれあい 区民まつり

第32回旭ふれあい区民まつりが10月16日、旭区役所、旭公会堂、鶴ヶ峰商店街協同組合駐車場で開催されました。

当まつりは令和2年度・3年度と、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催が見送られ、久しぶりの開催です。今年も縮小開催となり、私たち青少年指導員の内容も区役所第一駐車場にブースを設け、全市統一行動キャンペーン（啓発チラシ・除菌ウエットティッシュなど配布）のみ人員を絞った形で行いました。例年好評の竹細工教室は実施できませんでした。

次回からはまた区民の皆さんや子どもたちとふれあえるまつりになるといいですね！



旭区 学校音楽祭

12月17日旭公会堂ホールにて第12回旭区学校音楽祭が開催され、合唱2団体・合奏4団体の計6団体が参加しました。

コロナ禍で練習がままならないという声もあったなか、各団体、とても素晴らしい演奏をしていただけました。子どもたちの若さ溢れる歌声を聞き、楽しそうに楽器を演奏する姿を見て、我々も大いに癒されました。演奏後にはインタビューもあり、今日の感想や練習での苦労・音楽の楽しさなど子どもたちの生の声を聞くことができました。



また、今回は初の試みとしてケーブルテレビ・ネットで生放送・生配信されました。1月からはアーカイブ配信もされ、たくさんの方に子どもたちの演奏を聞いていただけたかと思います。

青少年指導員は with コロナ時代の新しい音楽祭をこれからも支え、子どもたちの発表の場を守っていきます。



薪割りに チャレンジ！



第1回 旭区親子野外自然体験活動

あたたかな秋晴れの土曜日。7.1倍の高倍率をめぐり15組の親子がこども自然公園に集まりました。今年2回開催するうちの初回の始まりです。

園内で赤や黄色に色づいた木々に囲まれ、ウォークラリーに挑みました。歩くだけでなくポイントでのクイズでは頭も使いました。ドーナツ広場では話題の「モルック」を体験。ほとんどの参加者が初めての体験でしたが「あとを引く」ものだったようです。

さて、かまどに挑戦です。薪割り→火起こし→焼き芋や焼きそばを自ら作ります。パチパチとはぜる火に腰が引ける子もいましたが、案外大胆に。鉄板を外したあとのデザート作りでは、竹ひごに刺したマシュマロを上手にトロ〜りとさせていました。青少年指導員が用意した豚汁や恒例の白玉だんごも好評でした。

毎年申し込みが殺到するこのイベント。自然と接しながら昔のやり方での調理など（文明の力も少し借りて）たくさん学ぶことがあります。子どもたちの「ありがとうございました」を糧に続けていきたい行事のひとつです。

第2回 旭区親子野外自然体験活動

こども自然公園野外活動センターで、11月5日と26日の2回に分けて実施しました。新型コロナウイルス感染症への対策のひとつとして、1テーブルにつき1家族としました。

前半がウォークラリーとモルック体験、後半が野外炊事の2部構成です。

開会式の後、各親子はウォークラリーに出発しました。石の広場、教育水田、中池、動物園、梅林と歩きながら、7か所に掲示された課題を解決していきました。野外活動センターに戻り、モルック体験をしました。初めてのモルック体験でしたが、真剣に取り組む子どもたちの姿が印象的でした。

後半は、親子で協力して行う野外炊事。係員から「なた」を使った薪割りと火起こしの指導を受けて調理開始。親子でなたを使い、薪が上手に割れた時は、満足気でした。各家族とも頑張って作った焼きそば、フランクフルト、焼き芋、焼きマシュマロをおいしそうに食べていました。青少年指導員が準備した豚汁や白玉だんごも大好評でした。

親子で片づけをした後、ウォークラリーの成績発表を行い、解散となりました。帰り道、「ありがとうございました」との声に、私たち青少年指導員一同、「開催して良かった」との思いを強く持ちました。

モルック体験



ウォークラリー



* 野外炊事 *

